

水源禪師法話集 2

2010年10月3日



目次

水源禪師法話	3
心と宇宙のエネルギー.....	10
メディアに惑わされない.....	13
過去世と来世.....	15
瞑想の仕方.....	18
人生の意味.....	19
日本社会を生きる不安.....	21
カナダでの瞑想指導.....	24
日常生活、即仏道.....	25
地球温暖化.....	26
ストレスと癒し.....	27
西洋の風.....	29
世界と日本.....	32
付記 義湘大師 法性偈.....	36

【水源師法話】

—社会の病気と心の病気—

今切実な問題から話しますね。世界的な状況と日本の状態について。そして、社会の風によって自分を取り違えて、病気になる。自殺だとか、心の病に入っていく現状をちょっと説明したいと思います。

過去 5000 年にわたり、文明、帝国が沢山勃興しては滅びて行きましたけれども、その中で 2500 年前に、ゴータマ・ブッダが宇宙の智慧を持って来て、そのおかげで私達が、非常に素晴らしい時間帯にいるのです。

その時に、皆さんご存知のように、2012 年は何を意味するかと言ったら、銀河系の中心と、太陽系とが非常に強力な引力によって、とても大きなエネルギーが地球に入って来るわけです。だから地震もこれから沢山起こるし、台風も沢山起こります。それはエネルギーが地球に入ってくるから。

その時に、人間の体もそれに反応して、良い方向に心を磨く時には非常に役に立つのです。強烈に力が入るから。そういうことがなかったら、2 年後に、やらなかった人は非常に苦しみます。それは地球が滅ぶということではなく、例えばお月様が満月になるように、非常に強烈な力が今どんどん入って来ているのです。

だから、10 年前にまさかアメリカの経済が破綻するとは思わなかったでしょう。今アメリカは、9.5%の失業率ではなく、25%です。私の教えている人で、モーターバイクで1日何百キロも走る強烈な男がいます。東海岸から西海岸までずっと行って見たけれども、大体 70 万円から 80 万円で大きな家を買えるのです。全部ガラガラです。だから日本では想像もできないような状態なのは、結局心を磨かず、物質だけで何とかなると思って、その挙げ句の果てが、今アメリカでは大変なことが起こっているのです。

それでそのしわ寄せが、今日本に来ているだけなのです。日本はもう過去 2000 年、非常に素晴らしいお坊さんたちが出ているから、結局心が安定しているわけなのです。それでも強烈に、この西洋の風が吹き荒れて、この風で今、心の病気を起こしているのです。

江戸時代など、働くのは1日6時間だそうです。一週間に3日働いて、その余裕で世界的な文化を生んだわけです。日本文化、茶道、華道、そして職人にそれだけの腕があったので良い物を作ったわけです。だから、何だかんだと言っても、これ程素晴らしい家とか、量とかがあって、これは世界の最たるものですよ。

だから本当に豊かなのですよ、ここは。働く必要はないのだけれど、無理やり働かせられて、働くことが美德だとか、馬車馬のように働いて、働いて、と。

ところが私が今回ペルーへ旅して、4500メートルの峠を5回越えて、クスコの近くで、とても不思議なところへ行ったのです。ロバ三頭を雇って、ポーターとかクッキングするスタッフとか、私も入れて6人が3日3晩キャンプをして行ったのです。行った時に、ロバが疲れるのです。そしたら荷物を降ろして遊ばせて、またロバが元気になったら私たちも一緒に行動すると。だから日本ではひどい時には7日ばかり働いて、病気もせずにと言うのは、これはロバとか牛とか馬とかだったら病気になるから絶対にさせないけれども、人間はそれ以上のものだから、そんなに働く事はないと思います。

だから社会的にこれからそういう風に進むのでしょうかけれども、この働いて時間がない、それから自然との接触が非常に少なくなる。そういうことで、今度は社会の病気が起こります。そして、働かせるために、社会的な、人間像のモデルを作るわけなのです。小さい頃から、それを自分であるかのように取り違えて、本来の自分から離れるから、ここで摩擦が起きて、躁鬱病とか、心の病気に入っていきます。

ですから、北米のインディアンたちは、大自然の中で昔のまま、本当に広大な荒野で、素晴らしい自然の中で生きていますから、全然波動が違います。物質とか、そういうことから一切離れて。日本に来る一週間前に、アイザックと言うシャーマンがいて、インディアン・メディスンマン。メディスンマンと言うのは、病気も直すし、願いも叶えてくれし、昔の神道と同じことをやるのです。昔は、天皇が病気になったら、巫女を呼んでお祓いをしたということを、学校では教えたけれども、何とホワイトハウスがね、私の友人のアイザックをホワイトハウスに呼んで、お祓いしてくれと。あの神を信ずる、シャーマンを一切否定する、世界最大のクリスチャンの国が。

今向こうでは、もう前世、来世、ということも、もうほとんど信じていますよ。日本では、今この世の中しかないと言うプロパガンダでね、昔のクリスチャンの考えを取り取り入れて、そういう嘘の知識が入るから、ますます病気になるのです。だから今、西洋社会でも、なぜか宣伝もしないのに、私のところに人が沢山来る。お医者さんも6人、心理学者、セラピスト、医療関係が非常に多い。それから先生方、大学の先生方が来ますけれども、なぜかと言ったら、そのトップ級は、なぜかおかしいと思っている。哲学から、教会のドグマ、理論について。それで私のところへ来て、納得がいくから、全部急速に変わって行きます。

カナダには日本のような仏教の薬がないのです。そこで、少しやればすぐ治ってしまう。心の病気から、身体の病気まで治ってしまう。それで私は、処女地いるようなものだから、本当に昔の經典に書いてあることでも、目の当たりに起こってきます。でも日本は、千年以上のどっぴりとした仏国に浸かっているものだから、なかなかこの薬が効かない、という状況です。社会に合わせた人間像、それに合わせてずうっと行って来たものだから、虚

像の自分で生きていて、そこで葛藤があるわけです。

私は一番良い方法は、まずは一切考えるなど。ただ呼吸だけをやってくれと。さっき言ったように、アーナパーナ・サティ（呼吸瞑想）でも、もう向こうではすぐニミッタ（*註1）が見えたり、それから体が消えてしまうのですね。というのは、一切余分なことを考えずにやるから、体だけは空の体験をしてしまう。心の空ではないですよ、身体の体験。その時に、実に仏教はすごいものだなということが分りました。

だから皆さん、この人は人を殺したから悪い人だと言うけれども、実は社会が、その人にさせたと言う点が非常にあるのです。それで、自分が悪い悪いと言うのは、実は自分ではなく、社会の病気を背負って、自分をいじめているということも沢山あります。だから本来の自分を見たときには、そういうものは消えてしまうから、それこそ、「浅き夢見じ、酔いもせず」と言ういろは歌にあるように、そのことを昔から言っているのです。

—まず自分を生かす—

だから、本来の自分になれば、一切そういう病気も消え、悩みも消え、本当に素晴らしい人生が始まります。その時に、本当に人を助けることができるのです。何をしなくても良いのです。本当に笑いが起こるから。そのバイブレーションで、人が見たらにっこりし始めます。

そういう風に、もうヨーロッパ経済も大変です。アイスランドから、ギリシャ、アイルランド、ポルトガル、スペイン、ただ良いのはドイツだけですね。フランスでも大変なのです。だから今、経済のために、日本が一身に世界の病気を受け始めているということ。そういうことを変えることはできないけれども、では何をしたら一番良いか。それで本来の自分を見つめるように。自然の中の自分が、本当の自分であるということを確認した時に、自分も生きるし、隣の人も生かすことができるし、この社会も生かすことができる。

それを忘れて、この社会を生かす、世界を生かすというのは妄想なのです。まず自分を生かしてください。自分を愛してください。自分を愛することができなくて、他人を愛することはできません。これは全部妄想です。そういうことを感じました。

特に悲惨だったのは南米で、彼らはインカという素晴らしい宗教と文明があったのです。それが、征服者たちが来てから、彼らの宗教を取り上げて、無理やりキリスト教を押し付けたものだから、心が半分まだ眠っているのです。

日本の場合はこうして、まだ仏教もあれば、神道も細々と真面目にやっているし、大変素晴らしいものです。アメリカでは、プロテスタント、カソリックとかそういう風なものがありますけれども、最大の問題は、結局前世がないということ。ところがそれは嘘です。本当に前世はあります。見ることもできます。未来の人生も出てきます。

アーナパーナ・サティをずっとやって行ったら、四界分別観、ナーマ・ルーパ（*註2）、そのあとに過去を最低6回見て、さらに未来を見なければ、その次に進めません。ハッキリと見ることができます。キリスト教でも、以前には前世ということが言われていたのです。特に、コプト教会（*註3）のね。だから虚構の上に、そういう理論を立てたものだから、今、西洋の宗教界はガタガタです。何もかもうまく行っていない。結局ピラミッドを作るときに、最初の土台が1センチ位ずれれば、頂上に行って、1メートルか2メートルもずれて、全然合わなくなってしまう。

だから結局、お釈迦様はほんとに偉い。やればやる程すごいと思う。その間に、まやかしの言葉が入っているけども、よく坐禅をして瞑想に入れば、どれが嘘かどれが本当か、分かってくる。お釈迦様は本当に嘘は言っていなかった。ただそのあとに嘘の経典が入って来るけれども、これが嘘である、本当のことであるということもそれもよく分る。だからお釈迦様は、テーラワーダ、マハーヤーナ（大乘）、ヴァジュラヤーナ（密教）、皆最初から教えていました。それをただ、特殊な状態にして、今の日本では、阿弥陀仏の浄土教、真言宗とか、日蓮宗とか、それぞれに別れているけれども、仏教は仏教で、仏の教え一つなのです。

だから、日本は卑下しているけれども、私がこうして世界の仏教の国を歩いたときに、確かに素晴らしいものがある。それが皆さん分かっていない。なぜかと言ったら、教える人が、ハッキリ言わないという、「沈黙は金なり」で、皆黙ってしまうから聞くことができない。それが障害ではあるけれども、実に発展すると思います。なぜかと言ったら、私がこういう衣を着ても、嫌がらずに聞きに来るし、心をオープンにして障害がない。心の壁がない。これはすごい事なのです。これがお釈迦様が言ったことなのです。一切色メガネをかけるなど。

私は、パオ（*註4）に行ったときに、虫を殺さないように、蟻を殺さないように、避けて歩きました。本当に殺したくない。なぜかと言ったら、私は蟻とも会話をしました。トイレでね、毎晩出て来るのです。間違って水を流したら殺してしまうから、そして何とか殺したくないから、まあ頭を使って音を立てて、そうしたら私が行ったらサーッと逃げて、トイレに入らなくなった。水のところにね。水を飲みたいから飲みに来るのです。そして、蟻も分かって、私がドンドン音を立てると、スーッと逃げて、それで私がおしっこをする。そういうことになりました。

だから、一寸の虫にも五分の魂ありと、はっきり分りました。そういうことですから、ましてや人間が人間をいじめるとか、人間が動物を虐殺するということは、これはありえないし、人間が差別をするということもありえない、仏教者として。もちろん市場に魚があれば私も買ってきて食べます。ですから、そう極端にならずに。人間同士が、差別とか、

あれはどうだ、こうだとかは捨てて欲しい。これは障害になります。心の発展の壁です。

私は、中国、韓国とかズーッと行って見たけれども、実は日本の方がドアを大きく開けています。中国の方は、大きいようでも、ドアをやっぱり小さく、隙間が小さい。なぜかと言ったら、毛沢東からずっと隔離されていましたからね。で、お隣の韓国は、やっぱり古い国だから、古い国程いろいろな習慣があって、もっと壁が厚くなる。それで隙間が小さいと。実は、日本の方が一番今心を発展させる状態にあるのです。だから心の悩みと言うことをうまく使えば、日本は、はっきり言って世界を助けることができます。それだけの力を持っています。

それを、逆に逆に捉えているから、おかしいことになってしまう。そういうことで、病気と社会との関係。人が悪いことをしたとしても、本当にこの人が悪いのか。社会が人を悪くさせている方が大きいのです。それであまり優しくした場合には、今度は過保護になって、あまりうまくいかない場合があるけれども、良く見れば社会の問題から起こしていることも多い。死刑はあんまりね。特に日本みたいに文化が発達した所は、やはり人にやさしい社会にしなければね。

昔は優しかったですよ。何の物がなくても、隣近所よく行って遊んで、お菓子食べて、ご飯食べて何ともなかったし、お盆の時に、夜になれば皆なで焚火を焚いて、幽霊の話をして。今、そういう本当の人間の触れ合いがないから、こういう風ないびつなことになって、社会的な病気になってしまうけれども、これから皆さん、一生懸命心を磨いてください。2年間です、2012年まで。これまでに、しっかり勉強してください。それをした方は、非常に世の中の人を助けることができるし、幸せにできます。また何もしなかった人は、苦しむでしょう。今度は逆の力作用が働いて来るから。

—大宇宙と真理—

それで、日本、日本と言わずに、世界、世界と言わずに、大宇宙のことを考えてください。本当に今回ペルーで体験しましたけれども、地球は、宇宙の生命体の通過点なのです。UFOがパッと来て行ってしまう。それが見えないから、会えないからと言って否定するのは良いのだけれども、たった10年前までは、他の星に、惑星なんて無いと言うのが通説で、それがずっとガリレオから来たわけなのです。ところが最近になって、他の天体に惑星を見ることができるようになって来て、実はあるということが、はっきりしてきたのです。

見えないのにどうして証明できるのかと言って、それ程、私たち人間は馬鹿なのです。常識で考えて、どう考えても無いわけがないと思っても、論理的に見えないのを証明してみろ、と言うからそれでお手上げになる。今度発見したら、今度は、「見えない派」が全滅になる。社会を狂わせたでしょう。宇宙には他の生命体が無いなんて、言って来たものだから。この事によってどれだけ、頭の中に壁を作られたか。だから宇宙人もいないという

ことになって。

それに、アメリカが初めて月に到達するときに、ある学者が、あれは 10 メータくらいの、ほこりが溜まって、宇宙船が降りればそこに沈んでしまうという学説で、それが定説でね、それも非常に権威のある人がそういう風に言ったのです。また、つい最近、10 年前かな、木星に彗星がバラバラになって突っ込んでいって、原爆以上の大爆発を起こしたのです。シューメーカーレビ彗星という名前だけでも、その時にどこかの物理学者が、何も起こらないと言った。大気中に入って、ただ燃え尽きて爆発などはしないと。ところが大爆発を起こしたのです、原爆以上の。そういう風に、私たちは知りもしないで、すぐ経文のように信じてしまう、というように教え込まれている。権威だとか、偉い人が言ったとか、そういうことで本来の自分を見失うのです。

だから本当に見定めるのは自分しかないのです。自分の体を通して。これが本当の知識なのです。だから瞑想をし、身体を通して本当の知識を得る。これが本物なのです。E=mc² と言う。アインシュタインの公式があるけれども、その本当の数式はたったの 2 ページなのです。それも見ないで、さも知ったように E=mc²、世界でも、これを解いて分る人は、10 の手に入らない。本当に数人です。それを経文のように唱えて、皆な人を騙す。

特にウォール・ストリートなんか天才的な数学者や経済学者を雇って、ウォール・ストリートが世界を大破壊させるという状態だったでしょう。皆な妄想で信じて、その通りやったら、実はダメだった。だから、この世で信じるものは、自分の知識。物を食べたら美味しい、これは本物。人が何といても、美味しかったらこれは本物なのです。妄想じゃありません。人が、これはどんなに美味しいものだと言っても、砂をかんだら美味しく無い。これは砂。非常に簡単なことです。

そういうことによって、どんどん色メガネを落として行ったときに、ダルマ（真理）が見え始めます。だから、まず考えないこと。考えるということは、そういう風な知識の塊なのです、私たちの頭は。どれが本物か、どれが偽物か分からずに、ただごちゃごちゃにして、新聞で書かれたことをドンドン頭に入れる。教科書にあったことをドンドンそのまま入れるから、それで頭がおかしくなる。頭がおかしくなれば、体がやられるのは当然です。

だから仏教の素晴らしいところは、考えるな、ただ坐れ。坐ったときに、アクサラ（不善）の知識が、落ちていって、本当の、クサラ（善）の知識だけが残ります。なぜかと言ったら、クサラは気持ちが良いから。アクサラの知識は、気持ちが悪くなる。非常に簡単です。私が、人の悪口を言えば、本当のことであっても気持ちが悪くなるから、しない。人が本当に良いことをしたとき褒めたら、本当のことだから、褒めて私も嬉しいし、彼も嬉しい。これがクサラです。

註1：ニミッタとは、心を集中したときに現れる集中のサイン。

註2：「四界分別観」は、「地・水・火・風」を観る瞑想。「ナーマ・ルーパ」とは、精神的現象と物質的現象。瞑想してそれらを識別していく。

註3：コプト教会は、エジプトにあるキリスト教正教会。

註4：パオ森林瞑想センターは、ミャンマー、モーラミヤインのパオ村にある僧院。ウ・アチンナ長老（パオ・セヤドー）が僧院長。



【質疑応答】

一心と宇宙のエネルギー

【参加者】

2012年のことを、詳しくお聞きしたいのですけれども。

【水源師】

時間帯が変わります。他の次元帯に入ってしまうと言うことで、今まで強烈に引っ張られていたものがスルッと緩んでしまうから、重力とか、引力がね。

今30の銀河がバーッと固まってこっちに来ているから。

この集団は大体3千の銀河が一体として動いているらしい。3千の銀河。だから銀河は散らばっているのではなく、雲のようにポッコリポッコリと動いているわけなのです。

その時になぜかメキシコのチェチェンイツァにあります天文台、つまりマヤの文明ですね。非常に精密にできた天文台で、そこに登ってみたら、東西南北まさにピターッと作ってですね、その頂上に30メートルか40メートルかわからないけれども、登ってみたら、角に二つの穴を開けているのです。そこから見たら、小さい空間が見えるのです。その空間を通してみれば緑のジャングルの海が見えるのです。

水平線がサーッと見えてね。そこから星が上がったときが、この時点だと記録しているのです。

ここにある時計が大体30センチでしょう。それが、地平線大の大きな時計だから、非常に正確な時間帯を観測できるのです。そのカレンダーは600年に1秒しか狂わないのです。現代は百万年に1秒とかの原子時計ができていますけれども。その時になぜそのような正確なものが必要だったか、非常に不可思議なことが沢山あります。

私がナスカに行った時に、ナスカの地上絵というのが有名なのです。飛行機で飛んで、千五百メートルとかから見れば、地上の滑走路や模様がどんどん見えてきます。私が今回、ナスカへ行った時に、シャーマンが待っていて、このあたりのインカの末裔なので、ケチュア人でしたが、この人が解説してくれたのです。猿の模様とか魚の模様とかいろいろな動物の模様について。

その時にこの心臓が出ているのは何かと言ったら、これは絶滅を意味すると。有名なハミングバードが羽を広げて、くちばしが長いものは、これは今、非常に危険なことが起きているということを知らせていると。その前に二つのラインがある絵があります。それは何かと言ったら、私たちは絶滅だ、助けてくれ、という意味らしいです。それは、宇宙

へのメッセージですね。昔非常に高度な文明が宇宙から来たらしいです。

それで私が地上へ降りて写真を撮ろうとしたのにうまく取れないのです。何かすごいエネルギーがそこにあって。その石を持ってトロントへ帰って、私の生徒には霊能力者が沢山いるのですが、彼にわたしたら、すぐにお腹が痛くなると。私が思ったのは、その時に、何か人類が地球に対して大失敗をしたような気がする。

ちょうど私たちが今、科学文明だとか何とか言って、アメリカなんかがイラクやアフガニスタンでもう10年も戦って、訳のわからない状態に入っているけれども、そういう風に何か無謀なことが、過去に起こって、仏教で言う輪廻ですか、また同じことを繰り返すのではないかと。だから今一番大切なことは、自分で本当のことを見るということ。そういうことだと私は思います。

【参加者】

今のお話で、2012年のある瞬間に瞑想していると、何か強いものが来るということですか。

【水源師】

もう私たちは入っているのです、実は。危機を乗り越えて。だからこれからは、ますますスピリチュアルな世界に入っていきます。だから、今一生懸命やっておけば、後は楽だということです。後で気が付いてからはますます難しく、なかなかうまく行かない。というのは私たちが死んでこれでお終い、と言うのならこれは楽ですよ。ところがそうではないのです。私が過去と未来を見た時には、この生命体はすぐに飛んで行ってしまいます。

こっちの時間帯として見たら差があるけれども、自分自身として見たら次から次へと移って行って死というものはないのです。リバー・アフター・リバーです。だから、「この世で何をしても、私はお終いだから一切関係ない」というのはとんでもない話です。一切を背負います。この宇宙はそう簡単なものではありません。

【参加者】

今本を読んでも、非常に大きなエネルギーが地球に来ているというということが言われていますが。

【水源師】

結局宇宙自体私達なのです。私たちは宇宙生命体なのです、実は。だから、日本は、地球は関係ないと一全然そんなことはありません。例えば太陽を取ってしまったら地球はすぐ絶滅するし、銀河系が爆発したら地球も生きていけない。私の体験では、最果ての宇宙もここも一体になっていて繋がっています。バラバラじゃありません。

ちょうど今生物学者がはっきりと証明しましたけれども、1本の木があって、沢山の葉っぱがついています。それでこっちの葉っぱが壊れたら、全部の葉っぱにそれが分かるのです。それがどういう神経体でどうなっているかは、木だからないはずなのに、全部分かっているということが証明できています。

そういう風は大銀河も、いろいろな銀河と密接に繋がっています。だからその学者が言うのは、私もよく理解できます。ですから私たちは自然をコントロールするのではなく、自然は大宇宙の智慧そのものだから、学ぶだけだと私は思います。

日本庭園は自然を取り入れて本当に美しい。私の住んでいるカナダでは、毎週1回きれいにグリーン芝生を刈って、見栄えは美しいですよ。前はグリーンにするために化学薬品を撒いて綺麗にして雑草を取って、そのおかげでガンになる人が多くなった。それで、今では禁止されている。それだけ私たちの知恵は浅はかなのですよ。だからあまり自分は馬鹿とか、そんなふうに思わずに、どうせ天才だろうがなんだろうが、馬鹿なことをしているから、あまり考え過ぎずに気楽にやってください。

【参加者】

瞑想とかクサラ（善行）をやっている人にとって、2012年の効果というのはどういう風なものがあるのでしょうか。

【水源師】

結局苦しみがなくなりますね、周りの人に比べて。だから、苦しみが少ないから周りの人をよく助けることができます。菩薩行ができます。で、このクサラがますます良い効果になって、次の生命体に入っていく時にますます良い結果をもたらします。

【参加者】

今通勤電車で、駅を行き交う人々の波動が、皆刃物持って歩いているように、とても殺伐として来ているという気がします。

【水源師】

でも私から見たらこの日本はまだ優しくて、そうでもないですよ。友人のアイザックに聞いてみた。「ホワイトハウスはどうだった、あのエネルギーは？」と。もう地獄の底みたいな波動らしいよ。彼は、「ワーストごく悪い」と言うからね。「そこに行って、お祈りしてやったら、もう3日間ワーストとして気持ち悪かった」と言っていた。だからね、権力とかお金、名誉、何も役立たない。それが現状ですよ。だから感わされずに。日本にはさっき言ったけれども素晴らしい歌があるじゃないですか。「色は匂へど 散りぬるを 我が世誰そ 常ならむ 有為の奥山 今日越えて 浅き夢見じ 酔ひもせず」という。

素晴らしい土台ができていますから、自信を持ってどんだんダルマ（真理）を得てください。智慧の世界に入って。これが実は世界の光になるのですよ。目に見えなくても実際に光を出しているのです。私の教えている生徒たちは、アビンニャー（超能力）の力が強くて私が光を出しているのが見えるのです。いろいろな宇宙からの聖者が降りてくるのも見えるのです。1人だけじゃなく、他の人も全部見ちゃうから。

だからここで、こうして話しても、聞いても、ここには日本の神々が今来ています。聞いています。本当に今真剣に私と瞑想したら、そういう現象が見える人があるはずですよ。だから日本の神々も大切です、仏教のパンニャー（智慧）も大切です。

ーメディアに惑わされないー

【参加者】

今お話されたように、日本にいますと、本当に世界の情報が正確に伝わっているのだから、と思います。外から見ていると今の日本はどんな風に見えるのでしょうか。

【水源師】

伝わっていません。伝わらないように作られています。ほとんど本当の情報が伝わってないでしょう。ただインターネットとかそういう方法で情報が入るけれども、あとは昔の日本の軍部がやったように、メディア・コントロールしているみたいですね。アメリカはもっとひどいですよ。アメリカは完全にメディア・コントロールしている。それで上から下まで皆働かなくなった。それで上から下まで皆嘘をつくようになった（笑い）。あっちの人は賢いからね。

【参加者】

最近インターネットと日本のマスコミの言っていることを比べてみると、全然違うと思うか、かなりずれていると思うのですが。

【水源師】

結局日本の本当の知識人が出ないようにしているみたいですね。テレビの討論会を見ても、アメリカでは小学生か中学生くらいの知識しかないような討論ばかりをしているから、こういう人が日本を指導したら日本は一発で潰れますよ。

英語教育も英語を覚えさせないようなシステムでしている。そういう態勢で本当のことを知らせないように、壁を作っているような気がしますね。心は本当のことを知ってそれが心の食べ物だから、それが無いから結局社会的な病気が発生して、罪のない人をいじ

めてみたり、マスコミがワッと騒げばすぐにそれに乗っかって、怖いから同じことをすれば皆助かると、そういうふうにはメディアで真理を完全にコントロールされているような気がします。

なぜかと言ったら、ウェルズ（*註）の火星人が地球を攻撃すると、そのラジオを放送した時にパニックが起こったわけです。私が、9.11 のニュースを聞いたときに、サーッと静かで、何だか単調な英語で、言うのですよ。「ワールド・タワー ワズ アタクト」とか淡々と言うのです。何かウェルズの火星来襲みたいな口調でね。それでアメリカが完全にワッとになって、何が本当かさっぱり分からなくなっている。で、本当のことをアメリカ人は知っても言えない状態。言えば、あんたは国賊か、みたいな雰囲気作ってね。

というのは、ツインタワーがあるけれども No.7 タワー。200 メーターくらいある巨大なものなのです。それがズッと倒れている。最初それを全然見せなかったけれども、今は、カナダの CBC で見せたり、BBC で見せるから、びっくりしてしまうのです。で、それは全部ご法度。アメリカでは一切質問してはいけないということで。

こういう話がありました。第 2 次世界大戦の時にドイツでね、ある人が政府の悪口を何だかんだ言って精神病に入れられたわけです。戦争が終わってみたら、この人が正常でドイツ国民が全部狂っていたという有名な話があります。実際の話です。

だからさっき言ったようにこうして坐禅をして雑念を取って、ほとんどの知識は何が本当だか、実際日本では分からないはず。ただ確かなものはお花とか、この畳のよさ、それから温泉、それから刺身。そういう本物を勉強してください。本当に日本は素晴らしい、きめ細やかで。だから本当にこれから皆さんがしっかりしたら、日本が世界に光を放ちます。物真似することは一つもありません。

註：H・G・ウェルズの「宇宙戦争」は火星人が地球を攻撃しに来るという話。

【参加者】

日本の中にいると閉塞感を感じるのですが。

【水源師】

メディアですね。私が北京にいる時に、友人にビュッフェに招待されて、豪華な食事がいっぱいできるのです。そしたら No. 1 は日式と言って日本の食事。みんなパーッと寄ってたかって。だからね、みんな嘘ですよ、反日とか何とか。韓国に行ってもね、「大阪屋」とか何とか日本の名前付けていますけれども、全然美味くないですよ。日本の食事が一つも出なくて、まずいものばかり。日本の名前付けたらお客が沢山来るものだから（笑い）。ですから、一般の人は関係ありません。

【参加者】

マスコミの言う事を聞いていると、日本だけ取り残されるのではないかというような気になってくるのです。為替で日本だけが円高になっているのですが、なぜそうなるのだろうか。

【水源師】

結局世界で日本だけなのです。アメリカはね、いつ破産するか分からない。それで今、金の値段がどんどん上がっているでしょう。結局投資するところは、日本と金しかないのです。金銀それからオイル。これからも、どんどん上がっていくでしょう。それで日本には本当の生産がある。だからそれがお金になるのです。そしてよく人が働く。これがお金になるのです。何だかんだ言っても失業率が5%でしょう。アメリカやカナダで5%だったら、天国ですよ（笑い）。全然問題ない。問題ある、問題ある、とそういう風に洗脳されているものだから。怖がることは一つありません。

日本の山奥で今、家が5000円で借りられるって。それから、100万円で土地付きの家が日本で買えますって。私がペルーを旅行した時ね、大体1日500円の宿、と言ってもこの部屋の半分くらいで、ホットシャワーもあるし、綺麗で。だから金じゃないのですよ。それで1日たっぷり食べれば、100円くらいだ。そしたら、もう食べきれないくらい。カンボジアとかスリランカとかも旅行したけれども、そんなに大金はいりません。だいたいそれくらいのもので、世界的に見て。

だからこれだけ日本の方がお金あったら使い方がわからないから、みんなハポネ、ハポネといってカモなのです。日本で考えると全然お金の価値がわからないから、安いと思っ
て。そういう状態で、皆さんお忙しいでしょうから、旅行はできないでしょうけれども、何でもそういう話を聞いてください。

—過去世と来世—

【参加者】

過去世なり来世が見えるお話をされましたけれども、過去は分かりますが未来は確定してないのに、それが見えるというのがよく分かりません。

【水源師】

結局、私たちは川の流れを後ろから見ているでしょう。それを振り返ったときに将来の方向が見えるのですよ。反対の方を向いたらこの流れの方向が見えるのです。というのは、

本当はこれは空なのです。自分の体も何もない。遺伝子 DNA が振動してこれを形作っているけれども、結局ニミッタでカラーパ（物質の微粒子）を見ていけば、自分の体が透明になってしまって何もない。それで光になってしまいます。これは、頭で解釈して私の存在を確認していますが、自分の体も何もない。

実は心で切り返して見ているだけなのです。だから川の流れは、山から下に流れるでしょう。それで、私たちは山の上の方からの流れだけを見ているから、過去はしっかり見えるけれども、ひょっと振り返ったときに、先へ行く川の流れが見えるわけなのです。だから時間というものも実はないのです。ですから、義湘大師の偈（*註）の中に無量遠劫即一念というのがあるはずです。

無量の遠劫、無限に長い時間も即一念。時間は実はないのです。ぐるっと回って還ってみたり。だからハッと気付いた時にサンサーラ（輪廻）が消えてしまうわけなのです。そうでなければグルグルとこの虚構の、私は生きているのだ、死んでいるのだ、生きているのだ、死んでいるのだ、というのをいつまでも繰り返すのです。

そのときに問題が発生するのは、無常・苦・無我・アスバ（汚れ）。これが輪廻の中に入ります。無常（アニッチャー）、苦しみ抜けられないから。ここ（腕）を叩けば痛いでしょう。心も痛いのです。心が痛いと分かるから、ここが痛いのです。

アナッタ（無我）、つまり自分というものが無いから、止めることができない。その波にドードーッと何回も何回もやられる。波のように返しては打ち、返しては打ち。何万回、何億兆年もやっているのだけれども、ハッと気が付けば、気付いた時に無量遠劫即一念、スンニャータ（空）。

ここに突き当たった時にハッと分かります。だから悟りは一念なのです。一瞬なのです。100年もいらぬ。だから大事なのはいつこれが起こるか分からない。私は起こるとも思わなかった。この100年ただ坐るだけだと思ったら、突然ある日起こって、それでこの力でパオへ行って同じ体験をしたわけです。

それでテラワーダも素晴らしいし、マハーヤーナも非常に宜しいと。でこれをやって行って、真言のバジュラヤーナ（密教）もこれもすごいと。なぜかと言ったら特に西洋人はお札とかね、何か手に持つものが欲しいのです、物質的なものが。言葉ではなく。で、弘法大師様が、真言は、一字に千里あると。で一人一人にその文字を与えただけなのですよ、真言を。そしたらこれがまたよく効く。

*註 義湘大師は韓国の仏教の基礎を気付いた人。華嚴の教えを要約した、法性偈を著した。（法性偈については、付記参照）

【参加者】

仏教を勉強していると唯一絶対の神様、イエス・キリストみたいに全能の神様みたいなものはないのだろうなというのは分かるのですけれども、どこかにこの世界を作った者がいて・・・。

【水源師】

それは自分なのです。だから、結局「一中一切」とはそのことなのです。一つにすべてが含まれている、そのことなのです。それを一だけ見るから全能の神になるけれども、一にすべてが入ってしまう。それを一般の人はよく分からないから、神という名を与えれば、理解できて God とか言うわけです。それで、そういうのはやめてくれと。あなたたちは本当に神を知らない。この宇宙も分からずに地球だけの単位で神と言わないでくれと。

この宇宙には何 100 兆もの銀河があるでしょう。実はこの宇宙は一つではないのです。その隣にまた一杯あるのです。それをマハーバイローチャナ（毘盧遮那）は、池に千の蓮の葉を見ると、それは一つ一つの宇宙ことなのです。華嚴経の中にあるはずです。

だから人間は、今この銀河系でも大きすぎて分からない。天文学者は、おかしい、この隣にマルチユニバース（多くの宇宙）があるのではないかと。それをうすうす気が付き始めた。それをお釈迦様は 2500 年前に華嚴経の中で言っているからね。で、ヴィパッサナーをやっていけばそれがまたバーっと見える、この宇宙が一つではないことが。

だから巨大なものですよ。それを分からずして「God、God」と言うからやめなさいというの。だから「一中一切」。その一とは何か。すごい秘密なのです。この現代文明において地球上の数学者今まで「一」とは何かを証明した数学者は 1 人もいないのです。一は一であるという約束の上で数学ができています。だからおかしいことが起こってくる。さっき言ったように「無量遠永劫即一念、一中一切」。

【参加者】

ではこの宇宙を自分が作っていると。

【水源師】

それどころかこの大宇宙はカラーパ、非常に小さい微粒子ですよ。このカラーパに全宇宙がすべて入ってしまう。カラーパはどれくらいありますか。無限です。無限と表現できないくらいの数でしょう。そのことです。

—瞑想の仕方—

【参加者】

先程数息観を教えていただいたのですけれども、口は開けていてやるのでしょうか。

【水源師】

少し空気が出て行くでしょう。吸う時を1としたら、吐く時は2。例えば吸う時に4秒とすれば、吐く時は8秒の割合です。まあ大体そういう方向でやってください。どうしても「吸って吐いて」がとても忙しくてやりづらいときは、ただ自然に入れて自然に出すと。

それからお腹をつかい腹式でやって丹田の力をつけるように。これが長いことやっていると非常に役立つのです。体を強くするだけではなく、長時間座っていくときの力になっていくのです。クンダリーニの力というかな、その力が非常に強くなって行って、気が良く回るようになるのです。それで集中力も出るようになりますから。

【参加者】

意識は呼吸に置くのでしょうか。

【水源師】

絶対に複雑なことを考えないで、すべて自然体で。考えなくて、呼吸だけです。そういう風に1から10までできないときは、する時にお腹いっぱい膨らむでしょう、その時にちょっと止める。それでへこんでいて再度またちょっと止める。そうしたらクッションがあるわけです。そうでなければサイクルになって忙しくなって、うまく行かない。それで自然にやって行ったら、うまくなります。私はもうずっと若い時から、やっているから、ここ（胸）では呼吸しないのですね、いつもお腹で呼吸をしています。

赤ちゃんもやっぱりお腹で呼吸をするでしょう。歳を取った時にここの筋肉が弱くなって、それでハーハーとなって病院に入ります。ですからできるだけお腹で呼吸をするようにしてください。赤ちゃんのように。それが一番の自然体です。それと無理をしないこと。

形とかは非常に大切ですが、実はあまり時間がないのです。あと2年間くらい。宇宙の力が働いてピッチが早くなりますから。自分に合う坐り方で結構です。私も随分長いこと結跏とか半跏とか考えて、足の悪い人はどうするのだとか、西洋人はどうするのだとか思いながら。とうとうミャンマーでは南方方式でやって、結局一番大切なのは坐り方ではなく、坐ることによって心が進化すること。それが最も大切なことであると。

だからある長老なんか、長椅子に座ってやっていたけれども、私がそれをやると眠ってしまうから、あまり良くないのです。私はやっぱり坐ってやる方が長時間坐れます。

【参加者】

半眼の方が良いのでしょうか。

【水源師】

半眼でやってください。その方が力がつきます。半眼ですからちょっと眼が開いてますから、いろいろな考えがあちこちに飛ばないのです。一点に集中しながらやるから。眼を閉じるとどうしても映像が入ってきたり、他の方に飛んでしまうから、それを防ぐためだけです。

—人生の意味—

【参加者】

高校生の頃から人生の意味とは何なのかということについて考えていました。世の中の人々を見てみると、大変忙しく動いているのだけれども、皆はどこへ向かって動いているのかなということが良く分からなかったのです。それで社会へ出て、いろいろ試行錯誤したり、考えたりしたのですけれども、今の自分が思っている人生の意味というのは、少なくとも自分のためだけに生きているとあまり人生が面白くないなというのが一つあって、人に何かしら貢献するということと、それと自分の心の中に人に対する思いやりとか温かさをもっていると、幸せに生きられるのではないかなと思うようになったのです。先生は人生の意味とか、人間として生まれてきたことの意味についてどんな風にお考えですか。

【水源師】

私も高校の時はよく考えましたよ。一体人生の意味は何だろうか。なんで生きているのだろうか。そういう時は哲学の本とか、いろいろな本を読んだのですけれども。一番衝撃的だったのは中学生の頃に読んだ「若きウェルテルの悩み」というゲーテの本があって、イヤこういう大先生でも愛ということを恥ずかしげもなく告白する、ということで愛という神秘的なことが、いつも心の中にありました。

それで高校の時はロゴス部と言って哲学のクラブに入って、いろいろなことをワイワイと、分かったような分からないようなことを言って。やっぱり、食べるということは、どういうことかとか、他の者の命を取って食べるのだから。それじゃ食べなければどうなるのかとか。今の菜食主義とかでしょうか。そういうことで随分回り道してきました。

小さい時から私は空中に浮かんで、自分の状態を見ているのです。だから科学がものすごく好きで、人生は一つではないと言うことを小さい時から知っているのですよ。ただ私

も人類が幸せにならなくてはいけないという、何故か知らないけれども、そういうことを思いながら、そういう点で悩みました。一体何のために生きているのだろうか。

結局王様の世界とか乞食の世界とか、ずっと本を読んだりしながら、実によく悩みというかモヤモヤしたものがあつたのですけれども、うちの母が高野山にお堂を持っているときに修行に上がって、そこに女人堂というお堂があるのです。その和尚さんから西陣織の、紫の色に錦糸で般若心経を書いた財布をもらったのです。それまで私はお経を読むこともないし、関係なかったのですが、それを見たときにショックを受けてね。「色即是空、空即是色」これはなんだろうと。こういう素晴らしいものが、この世の中にあるのかと。

もし私が死んでも、あの世にはこの経だけ持って死んでいきたいと思って。それでそれから弘法大師様の導きとかね、実際に聖霊現象とか起こして、パーッと出てくるのです。それで科学の世界では証明できないと、まざまざと見せ付けられるでしょう。そういうことで、なぜ生きているかということよりも、私はこの般若心経を知りたいと。なぜ生きているかということも何も関係なく、どうしてこれだけ素晴らしいものがこの世にあるのかと。本当にすべて知ってみたいと。それで何万回唱えたこともあります。

今でもこのお経なのです。もうこの話、これしかないのです。般若心経だけです、私を支えてくれたのは。それで高野山の高神覚昇さんという方が「般若心経講義」という本を書いています。これは本当に日本に住む日本人のために書かれた素晴らしい本で、これは大正時代が原本で、それから敗戦後にもう一回 NHK の放送をまとめて角川文庫から出したものですが、何回読んだでしょうか。

読むたびにその意味が全部変わるので、新しくなるのです。今読んだ意味が次に読んだ時は、全く次の意味になってくるのです。という風に、ああ心というのはこういう風に変化していくものかと。

そういう風に、もはやなぜ生きているかという考えもなく、ただそれだけ。朝から晩まで般若心経、般若心経。それで弘法大師様が言うには、一生懸命唱えれば度通するというのを信じてね。般若心経秘見で。それでいつになったら分るのだろうか、分るのだろうかと思いながら。こうして最も大切なところは「無所得」だと、これだけは一切もたない。それでそのうちにまた素晴らしい禅の先生にあつて、公案（*註）をもらったのですよ。

その公案のおかげで7、8年かかったかね、何も考えないでただただ座って公案を持っていたらパーッと空の世界を見て、これで私は良いのだと思って。私はどうせ在家だから、好きな写真でも撮ってとっていたら、どうしても仏教の国を回らされて、不思議な旅をさせられて、今度はミャンマーのパオに行ったら何と「観自在」。観とは、ヴィパッサナー。五自在とはこれだったのかと。それで、これはヴィパッサナーの解説書だったのかと。そ

れで「行深」とは、行はサンカーラ。サンカーラを深く見たときにパンニャー（般若）が見えると。

だから、般若心経に出会ったときに、もはやなぜ生きているかよりも一体これは何なのかと言うことだったのです、私にとっては。そして、一人一人が大宇宙の叡智の塊だということが分かったのです。ただ眠っているのですね皆さん。もうすごいものですよ、この生命体一つ一つが。ただこれを放って投げることはないです。一切の宝を、法華経に言う摩尼珠ですね、持っているのですから、皆さん。

もったいないですよ。皆さん誰も彼もが、全宇宙よりも素晴らしい宝を持っているのです。さらに見えないということが、これはまた素晴らしい状態です。それで皆さんが一生懸命努力するという、菩薩行をされるという。だから一木一草、一寸の虫にも五分の魂ありで、やっぱり壁をなくして、むやみやたら殺戮はしないと。ただあまり行きすぎると問題ですが、ほどほどに。

*註 公案とは禅宗で使う修行の方法で、師が弟子に、常識で考えては解けない問題を与える。「片手で拍手するとどんな音がするか」など。

——日本社会を生きる不安——

【参加者】

さっきのお話でアメリカの経済に巻き込まれて、日本が忙しくして精神的におかしくなっていると。そういう社会で、どうやって自分が生きて行くかという。なかなかそういう社会から逸脱することができないのですけれど。

【水源師】

いや逸脱ではありません。それが分かって働くのと、分からないで働くのと大きな差があります。その時に、ハッキリ分かった時に、激しく働いても自分たちの状態が分かるから、病気せずすみませす。その流れに乗ったままでも、働いてそのまま歯車に乗っても、一体自分がどういうポジションで何をやってるのか、激しく働いても将来の道が見えるから、このまま働いてもどうせ崩れていくという。

分からずに盲目的にどんどんやらせたら病気になる。だから人間いくら激しく働いても、ハッキリと分かって、その時に心をしっかりと持っていたら病気にもならないし、必ずこの苦難を抜けることができます。

ただそれを破壊するとか、ぶち壊して新しい物を作るとか、ただそれは 1 人ではできません。けれども、それをしっかり静かに見たときに、心が伝わって静かに火が収まって行きます。

【参加者】

今の生活はずっと変えずに？

【水源師】

変えなくても良いです。その中で今まで無理していたものが自然と離れていきます。「ああ、これ無理しなくても良いのだ」とか。その無理しなくて良い時間を、本当の自分の時間に使えるようになる。そういうことです。

だから私が言っていることは難しいことではありません、体制を壊せとか。その中で自分がどこにいるか。がむしゃらにやる意味がどこにあるか。ここは少し手を緩めて体を大事にするとか。そういうことがだんだん分かってくる。で、そのうちにこの嵐も止むはずです。

【参加者】

先程の話でアメリカやカナダでは失業率が 5%の日本は天国みたいなものだというお話がありました。日本の場合は、年金はどうなるのだとか、将来はどうなるのだろうかとか、皆さん不安で。

【水源師】

ここは天国ですよ。仏教のことも分かってこうして。皆なメディアの風でフラフラしているけれどもね。私は分かったけれど、この歳になれば何とかなるのだなと思って。若い時から、「どうしたら良いだろうか。学校も行かなくては、就職はどうなるかとか、こういうライセンスを取らなければ人生破滅だ」とか、全部嘘です。何とかなるから気楽にやってください。

【参加者】

例えばテレビで言っているのは、50代で千万円とか2千万円ないと老後は不安だとか、それで保険に入る高齢者がいたりするのですが。

【水源師】

やめてください。月に 5 万円あったらもう極楽浄土で天国みたいなところが世界にあらちちあるのだから。この日本だって月 5 千円で 1 軒家借りられると言っていますよ、友人が。だから問題は、メディアによるそういう情報でやられているから。本当の情報は入ら

ないようにしているしね。

【参加者】

そういう風に不安になってしまう人と、何とかかなと思う人との違いはどこにあるのでしょうか。

【水源師】

結局何でも釈迦様にお任せということで心配しなくても良いですよ。何とかなる本当に。

【会場から】

無所得。

【水源師】

無所得ですよ。だから私はどんどん捨てました。寄付もどんどんやったり、その時。ところが捨てれば捨てる程、またどんどん入ってくるのですね。本当に不思議なもので。若い時は金にしがみ付いて、失くした時は不安になるから、「金は天下の回りものなんて、何を言っているのだらう、一生懸命稼がなきゃ」と思ったものだけれども本当に、「天下の回りもの」で、失くしたらまた後ですつと帰ってきます。

【参加者】

じゃ、失くしてみるって言うことですか。

【水源師】

いやそうじゃないですよ（笑い）。ところが今度はね、もう家を三つ四つ持ったら頭が痛くて大変ですよ、修理とか何とかで。持たない方が本当に楽。

【参加者】

不安がっている人には何と言ってあげたら良いのでしょうか。

【水源師】

馬鹿にされるかも分からんけれども、「何とかかなと思うよ」って。これもおかしいかな。まあ、メディアがもう完全に洗脳してしまっているから、現実の世界と離れているのですよ。例えば私なんかは、お金一銭もなくともね、例えばミャンマーへ行って、そこで死ぬつもりだったら一生そこで食べさせてもらえるし、カンボジアに行けば王様のお寺があって、そのお寺の和尚さんが、私と一緒に瞑想して世界と一緒に教えようなんて言って。

日本は非常に恵まれていて、仏教の薬漬けだからね。沢山やってもなかなか効かないけ

れども、あいいうカナダみたいな仏教がないところはね、少しあっても、すごく効くのですよ。本当に昔の坊さんがやった現象が起こるのです。本当に身体も治るし、病気も治るし。

—カナダでの瞑想指導—

【参加者】

カナダではどんなことをされているのですか。

【水源師】

今メディテーション・センターをカナダで作りはじめて、もう 50 人位います。仏教も何も知らないけれども、私が昔般若心経に出会ったように、新しい光に逢ったように新しい人生が開き始めて。この人達は、お医者さんとか大学の先生とか、非常に立派な仕事をされている方が沢山います。というのは、もう最先端に行っても本を読んでも回答がない。

それで社会で教えてくれるところもない時に、初めてこの禅というもの、瞑想に出会って、それで変化がどんどん起こって、新しい光が見えたわけです。お医者さんなので、心のことも分るし、体のことも分るし、頭のことも分るけれども、今禅をやらせたら本当に不可思議な現象が起こってね、うわぁーっとびっくりして。

だからもう日本は非常に恵まれていて、仏教の薬漬けだからね、沢山やってもなかなか効かないけれども、カナダみたいに仏教のないところは、少しあってもすぐ効くのですよ。本当に昔の坊さんがやったことが起こるのです。体も治るし、病気も治るし。ボーンマローというガンの人がいて、私が行って一緒に座って、もう三回手術を受けていたけれども、もう薬漬けで臭くて、側に坐るのが嫌だったけれども、ずっとやった。そしたら、数ヶ月後にもうガンがなかったって。

それで私が坐った時に菩提樹があったのですね。カナダの小さい盆栽で。その時に私を通して何か黄金の光が出たらしい。それでその光で何か良い効果が出て、それでボーンマローだったのが消えてという、そういう現象も起こります。だから、ゴータマ・ブッダはすごいものですよ。ですから私など、在家で何もしないのに、こういうふうな海外に出て直接、少しでも仏法のお手伝いをできるということは、本当に幸せなのです。

カナダにはロシア系も多いのです。だからいつでもロシアに行けるし、東欧にも。というのは旧ソ連では宗教が禁止されていても、どうしてもスピリチュアルなものを求めているでしょう。それで私の生徒は、20 年間求め続けたのです。それで私がある会場に行った

ときに、私を見て、ワッとすぐに分かって、それで禅を始めた。それからどんどん変化して行く。だから仏国に生まれて、こうして本当の坐禅をできるということは、これは幸せですよ、畳の上でできるということは。

——日常生活、即仏道——

【参加者】

私は一時出家することを考えたこともありますが、出家するよりも世の中のいろいろな見聞を広めて、仕事を通していろいろな体験をして、仏道を修行して行こうと思っているのですけれども、先生は若い時に今のようにお坊さんとして法話をされているということを考えていましたか。

【水源師】

ま、あまり考えないこと。すべてが仏道です。生きてること一切が仏道です、究極的には。キリスト教にしろ何にしろ、結局行き着く所はこれなのです。でも、「これだけ」と言ったら反感を持たれるから言わないだけであって、私の体験では日常生活も、即仏道です。まあどこにでも真理はあるから、それで真理を深めていけば良いのです。お寺の方は非常に大変だと思いますよ。雑務があるから、修行しようと思ってもなかなかできないし、いろんなことがあるし。だから、一般の会社へ勤めている方が自由で一切責任ないからね、楽に修行できるかもわかりませんよ。

【参加者】

テーラワダ仏教で、慈悲の瞑想とヴィパッサナー瞑想と二つあるのですけれども、トラウマというか、過去に心の傷のある人が、慈悲の瞑想をやると昔のイメージが出てきてちょっと危険な場合もある、ということが言われているのですが。

【水源師】

それは私良く分からないけれども、過去のカルマがあって非常に苦しんでいる方に、アーナパーナ・サティの瞑想をやりながら、最後にはこの方に慈悲の瞑想教えたのです。そしたら完全にトランスフォーメーション（変容）して良い方向に行きました。だから人にもよるのではないのでしょうか。それから環境とか。その条件によっていろいろ変わるかもしれない。ただその時には教える人がね、心の痛みをまず取ってあげること。ただ本人に「取れ、取れ」じゃなくね。いろいろな取り方があります。障害を取ってあげるのです。だからそれが私たちの役目だと思います。

【参加者】

それは必ずしも他の瞑想を教えることとは限らないですか。

【水源師】

限らない。で、心の中に石コロみたいなものがあればそれを取ってやったら楽々と瞑想がしやすいでしょう。そういうことなのです。と言ってもなかなか難しいですけどもね。どうして取るか、いつ取るか、どういう状態で取るか、千差万別だから。

—地球温暖化—

【参加者】

2012 年問題で、今地球の温暖化が問題になっていますけれども、2012 年以降何か変わりますか。

【水源師】

地球温暖化は過去 10 万年のデータを調べたら、あれは地球が息をして、暑くなったり寒くなったり、大きい眼で見るとそうなっているのですよ。それがイギリスのスコットランドにある大学が世界の情報を集めて、何か編纂を正直にできなかったみたいです。確かにこの温暖化があるけれども、ずっと調べていったら、過去には全く雪のない状態もあったらしい。

というのは、今技術があつて洞窟の中の、ある石を切ってみたら年輪みたいにどういう状態にあったかが分るらしいですよ。だから今、「火を焚くな」とかいろいろなことを言っているけれども、それだけではなく地球自体のサイクルみたいなことが非常に影響しているようです。

【参加者】

ということは、今二酸化炭素はあまり出すなと言われて、二酸化炭素が悪者になっているようですが。

【水源師】

ある時期には二酸化炭素がもういっぱい時期もあったのですよ。である時にはこの地球が雪だるまみたいになってみたり。ある時は一切の水がない時もあったし。結局センセーショナルな事が好きだから、おどかして、おどかして、人をコントロールして。

【参加者】

何かそれも金もうけの手段になっているみたいな気もするのですが。

【水源師】

どうも私もそんな気がします。経済の方に結びつけて、今度は税金上げてみたり。人を苦しめる方にばかりやっているみたいで。そういうデータの本当のところは誰も分からないから。ちょっと変えれば右に行ったり、左に行ったりして、そこが昔の場合はそういうことをしたら、とてもじゃないけど、ということ。今は金さえもらえれば、右にでも左でも何でもしてあげるといふ人が出てきているから。だからどんでん返しがいくらでも出てくると思いますよ。

確かに私がアンデスに行った時にね、あの山に昔氷河があったのです、今はなくなっているけれども。確かに温度は上がっているけれども、それが二酸化炭素の影響か、それとも地球自体のサイクルなのか、どうも地球自体のサイクルのおかげで、この後はますます寒くなるらしい。これを過ぎて行けばどんどん。だから宇宙的なエネルギーの関係はハッキリ言えば分からないのでしょう。

—ストレスと癒し—

【参加者】

私の知人で、職場で非常にストレスがあつて、鬱病にかかった人がいるのですが、何かもう仕事に行けなくなって、ずっと家にいます。また悪くなるのではないか、ということ。心の中で思っているみたいで、さっき心の痛みをとる方法があるということ。仰っていたのですけれども、それはどういう方法でしょうか。

【水源師】

それは私と会話することです。結局こういうことなのです。お腹がすいたら食べなければ苦しいでしょう。心も同じで、本当の食べ物をもらってなければ、苦しくてそういう状態になってしまうのです。私がお話する時は、すべて本当のこと言うから本当の波動で、心が反応してだんだんと楽になります。

特に今の社会は閉じている社会だから、互いに隠すから食料がもらえないのです。お互いに隠しあつて。昔は隣の人が何を食べているか、何をすることがすべて分かってね。隠すことが一つもない、だから自分も隠さない。ところが今は全部シャッター、シャッターで隠しているから、結局取り繕って本当のことが伝わらなくなって、心の栄養が入って来なくなってしまう。だから私と数時間話せば変わり始めます。

【参加者】

こちらに来られない場合には、何か良い方法はないでしょうか。

【水源師】

あるお母さんの娘さんがこう言うのですよ。私のお母さんがこの頃よく夢を見て、それは死んだ旦那さんの夢を見ると。あ、これは大変だ、もう逝くなと思って、すぐあなたのお母さんに会いたいからということで、すぐお話ししました。それはカトリックの方で、非常にキリスト様を尊敬して、私は仏教だけれども、いろいろなことを話しながら来世のこととか、本当はこれだけではないのですよ、ということ私がお話しているうちに、だんだん明るくなってきました。年はもう 80 才ぐらいだけれども、大変なインテリでね、その娘さんもお医者さんなのです。それで三回くらい行った後は、これで私長生きしたいと、これから私本当のことを勉強しなければならないと。

【参加者】

知人でスピリチュアル好きな人がいます。しょっちゅう体のそこが悪いとか言ってヒーリングなどに行って来ます。今度の瞑想法はいろいろ良かったとか言っているのですが、結局あまり良くなった気配がないのです。

【水源師】

本物に会えばすぐ治ってしまいます。でもあまり力がなかったらその場では治っても、すぐまた元に戻ると言うことがほとんどでしょうね。縁があればこういう瞑想会などに参加していれば、だんだん治るはずですよ。というのは、皆さんから良いエネルギーをもらうから。

【参加者】

ある意味そういう場に出会えるかどうかが鍵になるのでしょうか。

【水源師】

まあそれも縁というか。あなたが非常に強い光を発すればね、あなたに付いてきて一緒にやりたいということになる。だから、自分を磨いてくださいと言うのです。それを一般の方は、自分を救うよりも全世界を救うと。まず自分を救ってください。まず自分を浄化したら、必ずやその光を見て、他人も惹かれてきますよ。

それこそ「牛に引かれて善光寺参り」ですよ。自分が明るくなってやったら、なんでこの人こんなに明るいのだろうか、と。分からないけれど、体から光が出て来るのです。

—西洋の風—

【参加者】

先程の経済の話で、西洋の国々が、日本を虎視眈々と狙っているみたいな話がありました
が・・・。

【水源師】

いや、実際に円が 82 円の円高で、これは大変だと思って。結局日本円が高いと言うことは日本が他の国の借金を払っているということです。ちょっと分からないかもしれないけれども、アメリカドルが安くなって、前は日本円が 120 円、130 円、140 円、それが 82 円となったらこれはたまらない。それだけアメリカドルで持っていたら、それだけ、40%、50%も結局日本がその分を払っているということになります。

だからそこで政治家が頭の良い人だったら、もうアフリカにどんどん投資して、鉱山とかどんどん産業を起こして、将来の日本を守らなければいけない。けれども、本当に評論家というのは評論はするけれども、ビジョンを言わない、どうやってこの国を救うかという。

【参加者】

それで西洋の話なのですが、日本も明治以降ですね、百何十年にわたって西洋的な文明や文化を取り入れてきて、確かに西洋文明というのは便利だし、物質的に非常に豊かになるということで、どんどん取り入れてきた。一方日本の伝統的なものもあるけれども、考え方自身も私たちの中で西洋的なもの、合理主義というのかな、そういうものが入ってきて、それで私たちの中で軋轢というものが起こっている、という気がするのですけれども。

【水源師】

間違った思想が入ってきて、人間性を考えないニヒルな哲学経済学が入って来ると、これは国を亡ぼします。そこには愛とか、心もないから。人間は心のある生き物だから、機械ではありません。これに合わせるように教育もすべて機械化してしまったでしょう。〇×式に。ところが、本当のところ西洋は違いますよ。イタリアなんか、本当の恋をしなければ男じゃないなんて言ってね。恋をしたかったらイタリアに生まれろとか。笑い。愛の哲学を二千年やってきたから。

仏教でもね、智慧というのは知識にプラス愛。この愛がなければ智慧にはなりません。それは恐ろしい方向に走って行くから。愛というのは、動物も愛すし他の人に対する慈悲の心。西洋の根元はやはりそういうものを持っています。

ただ間違った考えを一生懸命宣伝してね。そういう風に機械化させるのですけれども。

日本には日本の素晴らしい思想もあるし、それを実践しているものであるけれども、それをダメなように言っているけれども、日本では西洋のことをほとんど知らないのですよ。

というのは私の場合は、40年間西洋で暮らして西洋人の暮らしとか、そういうことを見ているから。ほとんどの人はそういう庶民と付き合うこともないし、ただ本で読んでちょっと話して、分かったと言って帰ってきて、今度はそれを鵜呑みにして皆さんにテレビで話すわけでしょ。そうしたらそれを見て、皆さんは行ったことがないから、ああそんなものかと思うけれども、ほとんど間違っています。

【参加者】

最初に西洋的なものに対して憧れていたと言うことがあると思いますが、民主主義とか或いは個人の生き方を大事にするとか、日本の場合は、家族とか村の共同体というものがあって、それは人間関係ではつながりではあるのだけれども、そこに縛られると言うことがあって。そういうことに対して一人一人の生き方を大事にすると言う。

【水源師】

それはごまかしですよ。昔は個人はダメだったと言うけれども、そうでもないですよ。家族の中で仕事したい、これしたいと言ったら、これをさせる。結局個人の思いを守っているでしょう。素晴らしい愛の話が一杯あったはずですよ。

アメリカは個人主義個人主義と言うけれども、「はい、自分のことは自分でしなさい。自分でお金稼いで」、それは苦しいし、なかなか成功しない。だから結局家庭も崩壊、皆なバラバラ。カナダの場合は一生に平均3回結婚しますからね。それで結局家族の繋がりもズタズタになってしまっているから、老人ホームも一人で。それを救うためにシステムの老人ホームとかを作っているけれども、その内部に行ったら、それはまあひどいもの。日本の事は分からないけども。

だから皆な張子ですよ、張子。だから民主主義と言っているけれども、ジョージ・ブッシュがアール・ゴアから大統領を盗んだでしょ。だから余程しっかりしなければ、民主主義という名前だけで、何が民主主義なのか、一体どこに本当の民主主義があるのか、分からない。

一番近いのは、スウェーデンやノルウェーという北欧でしょう。なかなか難しく、インドなんか民主主義だと言っても選挙やればそこで数千人死ぬからね。そしてユーゴスラビアでは、民主主義という名に踊らされて国を破壊されて、身内同士で殺戮したし。かと言って私は共産主義が良いと言うわけでもないし、ポルポトのような虐殺もあるし。

中国の人に聞いた時に、毛沢東の時代が良かったという人がいるのです。なぜかと言ったら、皆な貧乏で、努力しなくても皆同じだからそれで良いと言う。今は努力しなければ、本当に貧乏になってしまうと言う。

【参加者】

この10年位、日本の中で個人主義とか自由主義が行き着く所まで行き着いて、お金ですべてを判断するようなことになってしまっていて、企業の中でも正社員よりはパートとか派遣労働者の方が安いのでそういう人達を雇うと、それがいろいろな格差と言う問題を起こしています。

【水源師】

結局それは搾取ですよ。だから民主主義であるならば、人にやさしい社会を作らなければいけないでしょう、どの政党でもいいから。それをハッキリ言わなければいけないし、こういうことは将来の日本にとって良くないですよ。西洋でね、例えば金の車を持って、金の腕時計をつけて、金の服を着て、金の靴を履いたとしても誰も尊敬しません。人間生を見るから。人間性を見ると言うの、は話をして話ができなければゼロなのです。幾らお金を持っていたとしても。認められない。

だから日本も前はそうだったでしょう。それを誰がやるのか知らないけれども、昔大宅壮一という偉い評論家が出て、日本総白痴化という予言をしたが、その通りです。だから皆さんが、こうして一人一人が禅をやって正しい智慧を磨いていけば、これが光になって必ずや小さな光でも、これが波及して良くなって行きます。なぜかと言ったら、偉い和尚さんたちが皆な話しを聞いて、千人すべてが悟りを開くかと言うと、そうではなく千人いればたった1人で良い。だから菩提達磨も9年間座って、たった1人の弟子が出てくるのを待っていた。それが今禅でズーッと続いて来て、世界に広がっているでしょう。そういうものなのです。

【参加者】

修行が進んでいくと、心が広がっていくというお話がありましたが、或いは空というようなことを仰っていましたが、その感じというのはどういうものなのでしょうか。

【水源師】

壁が外れていくのですね、今まで作られた壁が。それでスケールがだんだん大きくなって行きます。この日本だけでなく、東洋、西洋、地球だけでなく、宇宙的なものも自然と見られます。過去の時代から、未来からズーッと。

【参加者】

私の知人に色々な物をあげたりするのですけれど、それが当然のように受け取るようになってきて、そうすると、あげることによってその人の煩悩を大きくしてしまうということが見えるようになって。

【水源師】

ではその時はもうやめるのですね。本当に困った人にお金をやるとか、食料やるのは本当に良いことです。しかし、それを当てにして今度は職業にしてくる人が出て来たら、それはあまり良くないと思いますけれども。

人間はそういう風になってしまうのですね。いつも食事をもらっていたら、その時はありがたいと思っても、今度食事をもらえなかったら腹が立つらしい。そういうことで、アクサラ（不善）が大きくなって行くのでしょうかね。お返しとして誠心誠意で返さなければいけないけども、返さなかったようですね、それだと。お返しというのにも必要みたいですが、お互いに受け取る、それでうまくクルクル回る。

—世界と日本—

【参加者】

今日本は輝いているとおっしゃられたのですけれども、曹溪宗の本家の韓国はどうなのでしょうか。

【水源師】

韓国は私が何年前でしょうか、高校生の時に行きました。その時には、朝鮮戦争で皆破壊されて貧しかったのです。その時に韓国で一番有名なお寺、ポモサというお寺—今世界遺産なってるけれども。そのお寺を何故か私が歩いたときに、お坊さんを見かけたのです。その時非常に嬉しくて、それから見ていたら、山にこもってどんどん修業していたのです。それからお寺がどんどん出来次第国はずーっと栄えてきましたね。

だから仏法の力は、すごいものですよ。しかし今クリスチャンが半分、仏法が半分で喧嘩してやっているけれども、そういう風に真面目にやった結果、今経済がすごいですよ。

中国も非常に追いつけて、大理とかを回って見たけれども、どんどん大きい寺を立てています。前は仏教を否定していたけれども、今は政府でも優しくして、お坊さんを入れて、お金は出してないみたいですがけれども、布施で生きているなら良いということで弾圧はしていませんでした。

チベットにも行って見たけれども、私の見た限りではそんなに強烈に弾圧はしてなくて、チベットのお坊さんが修行する寺がいっぱいありました。またチベットの最奥のプーラン（普欄）というところは、ネパールとの国境で、洞窟ばかりある町です。もう何千という洞窟。その一つの洞窟でお坊さんに会ったけれども、まあまあ心のすぐれた方で、朝から晩まで読経していて、嬉しそうにハッピーでね。

28 歳になる素晴らしいお坊さんと私が、一緒に旅行したのですよ。一緒にヒマラヤの山を越えて、ネパールにてダライラマに会いに行く旅を一緒にしたのだけれども、まあ実に向こうでは、真面目に修行している人がいっぱいおりました。

道教もやっていましたよ、真面目に。潰れていませんでした。その力で今強烈に強くなっているのでしょう。それでアメリカはやっぱり全世界から人を入れて、それをグルグル回しているから根が浅いからね。一旦つぶれたら、新しいテクノロジーがない限りなかなかうまく行かないでしょう。

【参加者】

先生のところにイスラム教の方というのはいらっしゃるのでしょうか。

【水源師】

イスラムの方たちは、私が会社に行った時、若い時によく討論したけれども、非常に真面目でしたよ。あまり嘘はつきたくないみたいです、神を恐れているから。イスラムの人もこう言った、「私たちはイヤなんだ。あまり過激派がいて自殺するし。私たちは平和が好きだ」と言っていましたよ。

【参加者】

CNN テレビなどを見ると、モスクを立てるとか立てないかで問題になっていますけれども。

【水源師】

あれはやっぱりアメリカの政策じゃないですかね。というのは私の知った話では、この前アメリカで 9.11 の近くにモスクを建てると。それでアメリカのプロテスタントが怒って、コーランを焼くということで世界が騒いだけれども、モスクを経てるといってお金は CIA が出しているとか。だから何が何だかさっぱり訳がわからない状態でしょう。

誰か喧嘩をすれば、それでもうかる方々がいるのかも知れない。世界ではいつでも火がついているから。特に武器弾薬は非常に大きな金になるしね。だから冷めて見なければね。いろいろな情報が日本には入りにくいのです。だからもし日本の方が情報を全部知ってしまったら、世界が一変に全部変わってしまう。

【参加者】

イスラムの人達も平和を求めているのでしょうか。

【水源師】

はい、みんな平和を求めています。誰も戦争は嫌です。ただお互いにカバーかぶせて、盲目にして喧嘩させているような状態です。本当の知識というのは、カバーを取ってしまえば、なんだ何で喧嘩するんだ、ということですぐ止まると思いますが、自分からカバーを取って正しく見たら、結果的に社会も助かるし、周りの人も助かるし、良い結果出しますから、あまりそういうことを深く考えずに、まず自己を磨いてください。

【参加者】

宗教が違ったり、信じているものが違うということで戦争が起こってきましたが、それは克服できるのでしょうか。

【水源師】

もちろんできます。それも皆な妄想です。どんな人でも切られれば血が出るし、痛いんです。人間は皆な本当に同胞なのです。あなたは今ここに生まれたけれども、今度はどこの国に生まれるか分からない。次に違う国に生まれて、その時はこの国をやっつけるように考えるかもしれない。だから皆なもそうです。

【参加者】

昔エルサレムに行ったことがあって、そこの旧市街に、ユダヤ教徒キリスト教徒イスラム教との地区があるわけですけども、ちょっとしたことで問題が起こる。それでも現実に共存していかなければならない。なかなか中東和平というのが進まなくて、一番苦労しているのは、一番下で暮らしている人達なのですが、それも結局心の問題なのか、と思うのですが。

【水源師】

いや政治的な問題だと思います。人間とか宗教とかは関係ないのです。なぜかという、私はシンガポールへ行きましたけれど、すぐ隣がアラブ、次は中国地区、次がヒンドゥー地区、それでキリスト教の人もあるし、仏教の人たちもいます。それで全然喧嘩になっていないです。綺麗でした。だから政治の問題だと思います。

日本の生き方は東洋のスイスになるしかありません。どこにも中立で、全世界に貢献するように。もう日本の国粹主義はやめて、世界同胞で世界の人のために学校を建てて、本当にそういう方向でどんどんやるべきなのです。もうそろそろ日本国民を解放してあげなくてははいけないのではないですか。

日本がお金を出して、アメリカがそのお金で世界を良くするのだったらいいけれどもイラク、アフガニスタン、パキスタンとのお金でどんどん殺戮したら、日本もその因果が

きますよ。そのお金があったら、皆さんに 3 ヶ月毎年休暇を上げたほうが良いのではないですか。休暇で、お寺に入って修行するとか、ボランティアでアフリカとか行って学校を建てるとか。

莫大な金があっても何にもならない。もうアメリカ自体が病んでいるのです。解体寸前なのです。だからもう日本にすがって生きるしかないから、横須賀に空母置いて。あれは何も日本を守るのではなく、日本にちゃんと手錠をはめて牢屋に入れて。日本は金の卵だからね。

もうアメリカでは技術者もいないですよ。だから車を作ってもらい、ミサイルを作ってもらい、パーツがなければミサイルも何もできない。それだけ遊んで暮らしたツケが来ているわけです。もし皆さんが本当にクサラ（善）の行をしたら、日本は輝きます。

日本が東洋のスイスになるか、それとも鎖国して自滅の道に入っていくか。でなければアメリカさんにいつまでもジリジリと血を吸われて生きていくか。ウィリアム・アンジンが実はフリーメーソンであってね。あれは見事に日本を罠にはめたのです。フリーメーソンと言っても、力はないですよ。あるのは、過去 1 万年のエジプトからずーっとノウハウは持っているけれども、日本が持っているこの心というのはすごいもので、それを徹底的に弾圧して来たわけなのです、明治時代に。でもそう簡単にはつぶれない。1 億人いてたった 1 人いれば良いですよ。この眼が日本を正しく導いて行くから。千人もいらぬ、たった 1 人の眼が。これを外国は抹殺に来るから。

カンボジアがやられたのはね、フランスが来て、まず全部高僧を殺したのです。そうすれば眼がなくなる、頭がなくなる。そして自由にコントロールできるから。スペインの征服者たちがインカにきた時も、全部インカの神官を殺したのです。スピリチャリティを。だから本当の日本に今こそ戻すべき時ですね。

土台ね、働くだけが人生じゃないのです。それよりは、最低 1 ヶ月でもゆっくりとお寺の中で、お寺の空気を吸って、坐禅でもして般若心経でも読めるという状態を作っておけば。私だったら日本全国に 3 ヶ月の休暇を上げて、好きにしてくださいと。それだけの金があるのだから。そんな御殿はいらないのです。貧乏になれと言うのではないけれど、日本には技術のすごい蓄積があるから。また人材もいるし。だから本当に金のなる山ジパング。そういうことであって、誇りを持って元気に、仕事もほどほどにね。

日本政府としても、派遣労働者とか馬鹿なことを止めて、誰でも最低限の安定を保障した生活はさせる。9 ヶ月は働いてもらって 3 ヶ月は休んで宜しいというような。そして心身ともに健康な状態に戻すと。フランスなんかは長年 1 ヶ月全部バカンスで休みを取る。だからそれが蓄積として強いのです。これだけ朝から晩まで働いていたら、一般の人はもう

フラフラで、勉強することもできないし、何もする気力がなくなる。

ですから、これからの日本は東洋のスイスで、すべて中立。ロシアにも中立、中国にも中立、アメリカにも中立。どこにも中立で、日本の国は自分で守ると。それが大切です。

付記

義湘大師 法性偈（水源師抜粋）

法性圓融無二相
諸法不動本来寂
無名無相絶一切
證智所知非餘境
眞性深深極微妙
不守自性随縁成
一中一切多中一
一即一切多即一
一微塵中含十方
一切塵中亦如是
無量遠劫即一念
一念即是無量劫
初發心是更正覺
生死涅槃相空華

